

2 研究の内容

(1) 研究の仮説

仮説 1	各教科等や体験活動と道徳をつなぐ工夫
仮説 2	体験活動を道徳の授業につなぐ工夫
仮説 3	成長を実感できる道徳の評価の工夫

(2) 研究の視点と内容

仮 説	視 点	内 容
1 各教科等や体験活動と道徳をつなぐ工夫	①各教科等や体験活動と道徳に関連させた指導計画の充実 ②各教科等や体験活動と道徳の授業に関連させる工夫	・道徳の授業に生かす体験活動の整理 ・道徳教育年間計画別葉の作成と活用
2 体験活動を道徳の授業につなぐ工夫	①体験活動を組み込んだ指導過程の工夫改善	・みふねっこの学習過程 ・問題解決的な学習を意識した発問の工夫改善 ・「熊本の心」の活用
3 成長を実感できる道徳の評価の工夫	①評価の時や場の設定や工夫 ②道徳ノートの効果的な活用方法	・重点価値項目に関する児童教師の評価 ・ポートフォリオ評価 ・家庭との連携

(3) 研究の組織

校 長			
教 頭			
研究推進委員会 (校長・教頭・研究主任・教務主任・各部長)			
授業・評価研究部	低学年部会 河口・緒方 古瀬 ◎吉村	中学年部会 ◎井上 赤星・河原 谷口・河島 下山(中山)	高学年部会 山本 宮本 市原 中川
環境整備部	◎吉村 坂口・豊住	林田(村上)	◎松出 内村・古江
家庭・地域連携部	栗崎 杉浦	廣田	

◎：部長

(4) 研究計画

月	日	内 容	区分	提案/担当
4	22	心のケアについての研修(講師：スクールカウンセラー)	全体	赤星
5	2	アレルギーの研修 テーマ研(テーマ・サブテーマ・年間計画)	全体	赤星・内村
	18	人権学習(中心にする子どもについて・人権学習提案)	全体	緒方
6	1	道徳理論研・年間計画(別葉の活用)	全体	赤星
	8	専門部会年間計画・作業	全体・部会	部会
	15	人権教育レポート研	全体	緒方
	22	道徳大研事前研(中学年：赤星)	全体	中学年
7	6	道徳大研事後研(中学年：赤星)	全体	中学年
	13	評価について	全体	赤星
8	31	復講(道徳教育ブロック研等)	全体	赤星他
9	14	道徳大研事後研(高：山本)※夏休み中事前研(部会)	全体	高学年
	21	道徳中研事前研(低学年：豊住)	部会	低学年
10	5	専門部会作業	全体	部会
	12	道徳中研事後研(低学年：豊住)	全体	低学年
	19	町人権授業研事前研(低学年：河口)	全体	低学年
	26	町人権授業研事前研(低学年：河口)	全体	低学年
11	9	道徳中研事前研(低：緒方 中：河島 高：宮本)	全体	低中高
	16	道徳中研事後研(低：緒方 中：河島 高：宮本)	全体	低中高
	30	道徳大研事前研(低学年：吉村)	全体	低学年
12	7	道徳大研事後研(低学年：吉村)	全体	低学年
	14	人権学習事後研	全体・部会	緒方
	21	専門部会・論文作業	全体	赤星
1	11	「生きる力」公開授業事前研(部会)→別学級で公開授業	全体	部会
	18	「生きる力」公開授業事前研(部会)	全体・部会	赤星
	20	特別支援学級授業研・特別支援に関する研修	全体	市原
2	1	学年部交換授業の教材研究	全体	学年部
	8	道徳大研事前研(中学年：※村上)	全体	学年部
	17	「生きる力」公開授業(中：井上 高：松出)	全体	赤星
	22	道徳理論研	全体	赤星
3	1	アサーション	全体	内村
	8	テーマ研反省と次年度への志向	全体	赤星

【学校教育目標】

知・徳・体の調和のとれた心身ともにたくましい児童の育成
～かしこく、やさしく、元気よく～

【研究主題】

いのち輝き、自他を『つなぐ』道徳教育を目指して
～体験活動を道徳の授業に生かす取組～

いのち輝く



生命の尊さ

家族愛・家庭
生活の充実

感謝

いのち

自然愛護

親切・思いやり

体験活動の充実

仮説1

各教科等や体験活動と道徳をつなぐ工夫

①各教科等や体験活動と道徳を関連させた指導計画の充実

②各教科等や体験活動と道徳の授業を関連させる工夫

仮説2

体験活動を道徳の授業につなぐ工夫

①体験活動を組み込んだ指導過程の工夫改善

仮説3

成長を実感できる道徳の評価の工夫

①評価の時や場の設定や工夫

②道徳ノートの効果的な活用方法

自分と人・もの・こと

自分と人・もの・こと

【言語活動の充実】

構成的エンカウターの実施・道徳コーナーの設置・道徳通信等

【児童の実態】

Ⅱ 研究の実際

1 仮説1【各教科等や体験活動と道徳をつなぐ工夫】に関する研究

(1) 各教科等や体験活動と道徳を関連させた指導計画の充実（道徳教育全体計画別葉の活用）

学校における道徳教育は、学校の教育活動全体を通して行われるものである。各教科等や体験活動と関連させた指導を充実することは、児童に道徳的価値を理解させる上で効果的である。そこで本校では「道徳教育全体計画別葉」を作成し、1年間を通して、道徳の時間と各教科等・体験活動を効果的に関連させた指導に取り組んだ。

各教科等・体験活動と道徳教育との関連の明確化			
始業式 大掃除 プール納め	運動会	1日見学旅行	
「熊」 (国) ないた赤おに (友情、信頼) 手紙を書くね (礼儀) キウイフルーツのたのし (公正、公平、社会正義) お母さんかないで (生命の尊重)	公園の草取り (勤労、公共の精神) 周りの人たちと (相互理解、寛容) きしめたまー「熊本の心」 (自然愛護) リレー1回 (個性の伸長)	金色 (節) あり (生) べろ (現)	
2学期のめあてを決めよう (希望と勇氣) 係を決めよう (希望と勇氣)	目を大切にしよう (個性の伸長) ブックレターを (節度、節制) どう伝えますか (友情、信頼)	学書 (希) 学書 (希) 学書 (友)	
社会科見学旅行について (規則の尊重)	「ローマ字」 (伝統と文化の尊重)(国際理解) 「ちいちゃんのかざり」 (社会の発展)	人情 (公)	
「わたしと小鳥とすずと」 (感動) 「より」	【資料2 道徳教育全体計画別葉】	「十」 (伝) (短) (伝) (三) (伝)	

本校では、計画を作成するだけで、活用があまりなされていないという現状があった。そこで今年度は「各教科等・体験活動と道徳教育のつながり」を再検討する時間と場を確保した。【資料2】のように、チェックを入れることで、改めてどの教科等・体験活動と道徳の授業が関連づけられるのか考えることができた。

2学期の大きな行事「運動会」を中心に、「希望・勇氣」「個性の伸長」などの道徳的価値で関連づけられる内容をつないでいる。

(2) 各教科等や体験活動と道徳の授業を関連させる工夫

各教科等や体験活動と道徳の授業を関連させることで、児童の思考の流れに沿った指導が積み重ねられ、道徳的実践力がより高まった。

ア 1年生の実践 ～自然や生き物の命を大切にする子どもの育成～

【生活科】6月「校庭でたんけんをしよう」

校庭を探検中にツマグロヒョウモン（幼虫）を見つけた。その独特な姿に石を投げようとした児童がいた。そこで、教室の中で幼虫を飼うことにした。生き物の世話をしたことがなかった児童も、生き物を身近に感じる事ができた。



【資料3 チョウの羽化を見る児童】

【道徳】6月「わたしはもんしろちょう」（自然愛護）

生き物を飼うという共通体験によって、モンシロチョウのことを思いやる主人公の気持ちと自分がツマグロヒョウモンをお世話したときの気持ちを重ねあわせて考えることができた。

自分たちのチョウが旅立つまでしっかりお世話しようという気持ちを新たにしていた。



【日常生活】6月 「チョウの旅立ち」

生き物を飼うという共通体験によって、モンシロチョウのことを思いやる主人公の気持ちと自分がツマグロヒョウモンをお世話したときの気持ちを重ねあわせて考えることができた。

自分たちのチョウが旅立つまでしっかりお世話しようという気持ちを新たにしていた。

イ 3年生の実践 ～親切や思いやりのある行動ができる子どもの育成～

【図画工作】5月 「だんだんだんボール」

地震後、1年生が教室前で泣いている姿を見て、自分たちにできることはないか考え、思いついたのが、工作をして喜ばせることだった。

図画工作にある「だんだんだんボール」の学習の目的を大事にしながら、1年生を喜ばせるという目標を持ち、取り組んだ。



【資料4 工作をする児童】



【学級活動】5月 「だんだんだんボールを盛り上げる工夫をしよう」

1年生がもっと喜ぶような「だんだんだんボール」にするにはどうしたらよいか、学級会を開いた。児童は積極的に「1年生に分かりやすいように看板を作った方がいいです。」「ルールを分かりやすく説明すると、1年生も楽しむと思います。」などの意見が出た。



【道徳】7月 「心と心のあくしゅ」（親切・思いやり）

「本当の親切とはなにか」主人公の行動を予想し、自分だったらどうするか討論した。子どもたちは、高齢者擬似体験をした経験を生かして意見を述べたり、1年生と楽しんだ「だんだんだんボール」の体験を重ねて考えたりできた。終末では、校長先生の説話を聞き、これからも親切にしたいという思いを高めた。



【資料5 ペアトークする児童】